

思い出の話

ある介護者の方との思い出です。その方は、幾度となく商品を取りに来所をされていた方でした。初めのころ、私の不手際で調整がうまくいかず、介護者の方に不愉快な思いをさせてしまったことがありました。その後は毎回緊張しながらの対応でしたが、回数を重ねるごとに、相手も打ち解けて下さり、来所の際にたわいもない話などもしながらのコミュニケーションができる関係になっていました。

ある日、その介護者の方から電話がありました。聞くと、ご利用者が他界されたとの報告でした。突然のお別れだったようで、ご家族としても受け止めきれないようにお話されていたのが印象的でした。

「長い間、良くして頂きありがとうございました。体調崩さないようにお仕事して下さいね。」

最後に当初の関係性からは想像もできないような声掛けをしてもらい、「頑張ってたよかった」と感じられたエピソードでした。(2024年8月)

